



## 武庫女スポーツ創刊 学生たちの活躍紹介

### 東京五輪へ「背中押したい」

2020年東京五輪を目指す武庫川女子大学（西宮市池開町）の学生アスリートを紹介するスポーツ新聞「武庫女スポーツ スポラビ!」を、同大学スポーツセンターが創刊した。多くの卒業生や在学生在が世界を舞台に活躍する同大学。取材と編集に携わったメンバーは「強い気持ちで頑張る学生たちが、たくさんの人に応援してもらえるよう背中を押したい」と話す。

（小谷千穂）

武庫川女子大では、1968年のメキシコから2012年ロンドンまで水泳や体操、カヌーで在学生在や卒業生ら10人が五輪に出場している。現在も国際大会や全国大会で活躍する学生は多く、試合戦績などのスポーツ情報を学内外に広く発信しようと新聞を発刊することにした。

貝開き4ページのカラフルな紙面では、体操やカヌー、なぎなたなど各部活動の活躍や練習の様子、東京五輪に向けた学生の思いなどを紹介。学生アスリートの支援などを目的に昨年2月開設したスポーツセンターの学生スタッフら6人が、スポーツ新聞の編集委員から執筆を受け、取材や原稿の執筆に取り組んだ。

全国大会で総合優勝6連覇を達成したカヌー部を担当した4年の鏑木遥さん（21）は、昨年8月、大会があった石川県まで同行。学生の活躍を目の当たりにし、「この臨場感を伝えたい」と表現の細部までこだわって記事を仕上げたという。

陸上部で4年の大沢菜々スポーツ新聞をPRする大沢菜々さん（左）と鏑木遥さん（右）武庫川女子大学

さん（右）は、チームメートで、昨年7月のアジア選手権に走り高跳び日本代表として出場した秦澄美鈴さんを取材し、記事をもとめた。「東京五輪への熱い思いや、陰の努力を伝えられた」と大沢さん。「秦さんのオリンピック出場が決まったから、後輩に『号外』を出してもいい」と笑う。年1回発行予定。今年は1万5千部印刷し、在校生や卒業生に配布のほか、近隣施設での配布も検討中という。同大学スポーツセンター ☎07988・451・8957